

# 2019年2月1日 第3276回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 江 沢 副会長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> \*米山奨学生 金 穂 勅 様

<誕生月祝> \*上 林 茂 (S.06.02.01) ・山 田 真 悟 (S.40.02.01)  
 \*井 口 明 彦 (S.37.02.04) ・木 村 一 郎 (S.45.02.05)  
 \*鈴 木 隆 裕 (S.45.02.06) ・鈴 木 康 仁 (S.26.02.07)  
 \*八 木 達 也 (S.41.02.10) ・齋 藤 隆 (S.23.02.11)  
 \*平 田 文 彦 (S.34.02.12) ・浜 田 哲 二 (S.24.02.18)  
 \*杉 山 雄 二 (S.20.02.20) ・Enora Rogers (S.33.02.25)  
 \*中 山 尚 (S.42.02.26)

各会員

<入会月祝> ・小 沢 一 彦 ・明 野 充 功 ・北 村 理 和 子  
 ・高 橋 隆 一 ・瀬 戸 映 男 ・上 原 公 一

各会員

<会 長 報 告> \*第7回理事会報告 2月 8日(金) 第2回クラブ協議会実施  
 2月22日(金) ロータリーデー夜間例会実施

\*ガバナー事務所よりロータリーレート変更のお知らせ

2月より1ドル110円 (現在112円)

\*出席委員会 加藤(淳)委員より1月出席報告 1月分平均出席率 63.63%

	会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
1月11日	122名	110名	74名	36名	3名	70.00%
18日	122名	104名	54名	50名	5名	56.73%
25日	122名	106名	67名	39名	1名	64.15%

\*釣り同好会より 「第2回マダイ釣り&試食会」のご案内

<幹 事 報 告> \*ロータリー米山記念奨学会より確定申告用領収証 着

\*抜粋のつづり その七十八 着

\*週報・・・横須賀南西ロータリークラブ・横須賀北ロータリークラブより 着

\*市民講座のご案内 3月9日(土) よこすかベイサイドポケットにて開催

\*ローターアクト例会 2月12日(火)(清掃活動)

2月26日(火)(横須賀幼稚園)

<出 席 報 告> \*出席委員会 加藤(淳)委員より2月1日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
122名	106名	64名	42名	5名	65.09%

<ニコニコ報告>

・田 邊、齋藤(眞)、前 川、佐久間 各会員 米山奨学生 金 穂勅様、ようこそお越し下さいました。最後まで例会をお楽しみください。

・三 役 新会員卓話 山田 豊会員、本日はよろしくお願ひします。

・上 林、井 口、木 村、八 木、平 田、杉 山、Enora、中 山 各会員 誕生月祝いとして

・小 沢、瀬 戸、上原(公) 各会員 入会月祝いとして

・勝 間、澤 田、波 島、前 川、三 堀、中村(由)、兼 城 各会員

上林会員、本日2月1日、米寿のお誕生日おめでとうございます。益々お元気で!

・角 井、植 田、松本(剛)、鷲 尾、田 邊、勝 間、澤 田、齋藤(眞)、久保田、八 卷、上 林、山 寄、藤 村、丸 山、猿 丸、根 岸、徳 永、齋藤(眞)、鈴木(崇)、土 田、臼 井、Enora、前 田 各会員 山田豊会員、本日の新会員卓話楽しみにしています。

- ・山田 豊 会員 新会員卓話させていただきます。あたたかく見守って頂きたいです。
- ・釣り同好会 加藤 博 幹事 横須賀ロータリー釣り同好会、4/13 (土) マダイ釣りを計画します。  
みなさん楽しみにして下さい。大漁、大漁！
- ・松本 博 会員 YTYライブ楽しみにしています。
- ・木村、白井、大竹、平田、小山、物井 各会員  
サッカー本日アジア杯決勝。森保 JAPAN！カタールを倒し勝利をつかめ！  
絶対優勝！！

## <新会員卓話>

山田 豊 会員

皆様こんにちは。本日、新会員卓話をさせていただきます山田豊でございます。先週あたりに斎藤幹事から新会員卓話のご連絡をいただきました。卓話の担当は急に決まるものなのだと驚きましたが、準備してまいりました。先日大滝町のバス停で上林大先輩にばったりお会いした際に今日の卓話についてご心配・お気遣いをいただいたことに感謝しつつ、自己紹介を兼ねてお話しさせていただきます。お聞き苦しいかと思いますがどうぞ宜しくお願い申し上げます。

まず私の出身地でございますが、愛知県の愛知郡長久手町という郡部でございます。1971年、昭和46年に生まれ、社会人になるまでずっとそこに住んでおりました。私の生まれたその年に、長久手村から長久手町に変わったことを小学校で教わり、成人式でもそのことに触れられました。名古屋市の東側にあり北は瀬戸物でちょっと有名な瀬戸市、東隣は山岳地帯を超えて豊田市です。小牧・長久手の戦いで教科書に載っている地名ではありますが、私の名字どおり、山と田んぼが多い、地方のぱっとしない町でありました。現在では人口増加によって近隣市町村と合併することなく長久手市に名称が変わっております。住んでおりました地域の近隣の名字は全て山田でした。小学校のクラスの山田率は高く、おぼろげですがクラスに10人近くいたと思います。大人からの判別の方法として「だれだれの孫」などというのが普通に使われておりました。ちなみに私は「ユキマサの孫」と判別されておりました。町の土着の名字が山田・青山・川本の3つだけと聞かされておりましたが、実際その通りだったかと今になって思います。地域が古戦場ですので近くには恐ろしい名前が多かったです。「血の池」という恐ろしい名前の沼がありました。危ないから近づくなと言われておりましたが、子供の絶好の遊び場でした。後にこの池は「蚊がたくさん出て迷惑」という近隣住民の声から、埋められてしまい、思い出深い「血の池」は「血の池公園」に変わり、小さい子を連れてママ友が集う綺麗な公園になってしまっており、朝のラジオ体操や盆踊りの会場になっています。

実に閉鎖的なムラ社会の中で育っておりました私でしたが、中学にあがるちょうどその年に、町に2つめの中学校ができました。私は新しくできたほうの学校に入学いたしました。当時急激につくられていた新興住宅街に越してきた子供が多く、生徒の中の山田率は急激に低下、クラスに3人くらいしかいなくなりました。その後、名古屋市内の高校・大学に進学し、学校を卒業するまでずっと名古屋におりました。ちなみに私は名古屋市民であったことは一度もありませんが、名古屋周辺の出身者は出身地を聞かれた際、漏れなく「出身は名古屋です。」と言います。私もそうですが、ひどくなると岐阜市や知多半島あたりで生まれているのに「出身は名古屋です。」等相当曖昧です。説明が面倒くさいからではなくて、本当に名古屋出身と言って間違っていないと信じているのです。

閉鎖的な田舎であった私の出身地は、2005年、平成17年に万博の会場になった頃からみるみる変貌を遂げ、バスの代わりに速度の遅いリニアモーターカーが走り、国道沿いにはビッシリと商業施設が建ちました。「地元民は万博成金」と陰口を叩かれているとの悲しい知らせを親から聞きました。地元で商売をしている同級生からも景気のいい話ばかり聞きました。子供の頃からずっとかかりつけの小さな病院も大きくておしゃれなクリニックビルになっておりました。名前も「ドウモリ内科」から「ドウモリグリーンロード



クリニック」に変わっております。大型公共事業がいかに関域に富をもたらすかを遠くから実感した次第であります。

学校を出るまで一度も地元を離れたことがなかった私ですが、就職先を探す際に最優先したのは「東京で働きたい」という事でありました。平成6年に現在勤務しております「明治安田生命」に入社しました。当時の社名は「明治生命」でありましたが、今年で25年、勤め続けております。東京生活に慣れてウキウキで入社したものの、都会の生活はあまり味わっておりません。転勤で居住した場所を申し上げますと、①埼玉県の朝霞②川越③山形県の鶴岡市④千葉県千葉市⑤札幌⑥熊谷⑦岩手県の盛岡市、⑧横須賀は8か所目の住所でございます。おかげで上の子供は、私の転勤により小学校を6年間で4つ変わっておりまして、振り返ると可哀想なことをしたなと思いますが、現在19才、不登校にもなってはならずほっとする次第であります。下の子供はタイミングが良かったみたいで転校は1回だけでした。

転勤をしている中で一番難儀をしましたのは、山形県に引っ越したばかりの頃、分かる方には分かると思いますが、方言と訛りが非常に強い地方である為、相手の喋っている内容が全くわからなかった事です。同じ日本語なのに相手が何を喋っているのか分からない状況を初めて経験いたしました。ご高齢の方と話すときはほぼ100%おっしゃっている事が分からないことも多く、その時は愛想笑いと相槌がとても上手くなりました。仕事の時も同じで、地元の職員にその場で通訳してもらうか、何を話していたのか確認し直す状態が続いておりました。社内の人間は私と喋るときだけ標準語っぽい話し方をしてくれましたが、同僚同士の会話の内容を完全理解するには相当な時間を要しました。それでも3年目くらいにはすっかり慣れ、今でもうっかりと「あんだ。」などと返事をしてしまう事もあります。ちなみに20数年間慣れ親しんだ名古屋弁は喋れなくなりました。

最後に、最近取り組みはじめたことを述べさせていただきます。世の中、健康ブームでございますが、これまでの私の健康への取り組みというとせいぜい青汁を通販で定期購入して飲んでいるくらいでありました。9月頃に、周りの影響もあり、これまで趣味にしておりました散歩をジョギングに代えました。思い切ってさいか屋の中の靴屋さんで、新しいジョギングシューズを5000円で買いました。それを履いて海沿いの道路を走ることにしました。走るときは毎回5〜6キロだけ走っております。気分によってゆっくり走るときと、速く走るときと分けております。速く走るときは本物のマラソンを意識して1キロ6分台で走るようにしておりますが、後半は息が上がり、まだまだ体力のなさを痛感しております。これまでジョギングの習慣が全くないものの、目標がないと張り合いもないと思い3月3日（日）の三浦国際市民マラソンに申込をしてしまいました。参加申込料金はシューズ代と同じ5000円ちょっとでした。ハーフマラソンだから何とかかなるかなと思っておりましたが、先日下見がてらにコースを車で走ってみて、申し込んだことを激しく後悔しております。三浦海岸からスタートして平坦な海沿いを走るところは大丈夫そうだなと思いましたが、その後坂道が延々と続き、城ヶ島で折り返した後は、強くて冷たい海風を受けながら戻っていくとても過酷なコースでありました。1ヵ月後の人生初ハーフマラソンを完走して三浦大根をもらえるよう頑張ってみたいと思っております。結果がどうだったのかは聞かないでいただきたいです。

以上、自己紹介を兼ねて話しをさせていただきました。本日はご清聴まことにありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 江 沢 副会長

週報担当 中 山 尚